

みやしん野球部！3年連続4度目の優勝！

河北新報杯争奪第18回宮城県軟式野球選手権大会

平成28年9月3日（土）・4日（日）、河北新報杯争奪第18回宮城県軟式野球選手権大会（於：蔵王町：楽天イーグルス蔵王球場）が開催され、当金庫野球部が3年連続4度目の優勝果たしました。

本大会は、各主要大会の上位成績を残した全8チームがトーナメント方式にて競い合う大会です。今回出場したチームは下記のとおり。

- ・河北新報争奪職場対抗大会（1枠）宮城第一信用金庫
- ・国民体育大会宮城県大会（2枠）杜の都信用金庫・株式会社仙台銀行
- ・天皇賜杯宮城県大会（4枠）クエティブ・マックス・株式会社菓匠三全・株式会社タケヤ交通・M B A
- ・高松宮賜杯宮城県大会（1枠）ネットヨタ仙台株式会社

【一回戦：株式会社タケヤ交通（ライトニング）戦】

相手先発投手の立ち上がりを攻め2点を先制。その後も相手エラーなどに足を絡め毎回得点を重ねる。一方、当金庫先発桐生穂高はテンポが良い投球で試合を作り、最後まで相手に立ち直るきっかけを与えることなく完封。本大会3連覇へ幸先良いスタートが切れる試合でした。

【準決勝：杜の都信用金庫戦】

試合序盤は、当金庫先発高橋拳嗣と相手先発鈴木直樹選手の投手戦。お互い持ち味である多彩な変化球と絶妙なコントロールで打者を抑え、中盤まで0対0と緊迫した試合が進む。中盤以降6回、疲れの見える相手投手の甘くなったボールを見逃さなかった当金庫各打者はヒットなどで満塁のチャンスを作り、1番主将嶋田将宏が左中間へ走者一掃タイムリーツーベースヒットを放ち一挙3点を奪う。

当金庫は先制した後、先発高橋拳嗣からエース小野大樹へスイッチ。残り2回を0点抑え勝負有り。息詰まる接戦において「継投」判断が勝敗を分けた試合でした。

【決勝戦：ネットヨタ仙台株式会社戦】

当金庫は1回裏の攻撃、四球や盗塁絡め四番佐藤晋也のライト前ヒットで2点先取するなど序盤から試合を優位に進める。当金庫はその後も相手のエラーに走塁を絡めたそつのない攻撃で小刻み追加点を奪い、突き放し、「3年連続4度目」の優勝を果たしました。

次なる大会は11月3日茨城県水戸市で開催する水戸市長旗第24回東日本軟式野球選手権大会。今シーズン最後の公式戦ですので、最後まで勝負を諦めず頑張ります。引き続きご支援とご指導賜りますようお願い申し上げます。

<対戦結果一覧>

準々決勝（9回戦：7回コールド）

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
タケヤ交通	0	0	0	0	0	0	0			0
宮城第一信用金庫	2	1	2	2	1	6	×			14

準決勝（9回戦）

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
杜の都信用金庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城第一信用金庫	0	0	0	0	0	3	0	0	×	3

決勝戦（9回戦：7回コールド）

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
ネットヨタ仙台	0	1	0	0	0	0	0			1
宮城第一信用金庫	3	1	0	0	1	0	3	×		8